



Environmental
Management
Report



～ 環境経営レポート ～



“Earth and a good friend”
— Vol. 20 —

特集：「環境経営」20年の軌跡

【令和5年度】

令和 5 年 5 月 1 日 ～
令和 6 年 4 月 30 日 迄

株式会社 北陽商会





自動車販売・民間車検工場・損害保険代理店

株式会社 北陽商会

住所：岡山県新見市新見327-1

TEL：(0867)72-2173

FAX：(0867)72-2270

Mail：hokuyo@mx3.tiki.ne.jp

URL：https://ecohokuyo.web.fc2.com

《 沿 革 》

昭和	27年 7月	自動車部品販売店 北陽商会を開業
	37年 9月	自動車販売整備業 株式会社北陽商会を設立【認証番号:30-185】
平成	3年 11月	指定自動車整備事業者認定【指定番号:岡619-12345678】
	18年 5月	エコアクション21認証登録【認証番号:0000744】
	8月	岡山エコ事業所(一般事業所)認定取得【認定番号:10028号】
	22年 5月	岡山県地球温暖化防止活動表彰受賞【岡山県】
	23年 5月	環境保全優良事業所受賞【中国運輸局】
	24年 3月	岡山エコ事業所(ゼロエミッション)認定取得【認定番号:30056号】
	25年 3月	第17回環境コミュニケーション大賞大賞受賞(環境大臣賞)【環境省他】
	28年 4月	こども110番のクルマ屋さんへ登録【自動車整備振興会】
	30年10月	水銀灯及び蛍光灯をすべてLEDに交換
令和	1年 2月	災害時支援協力事業場へ登録【岡山県】
	3年 5月	おかやまプラスチック3R宣言事業所登録【登録番号:5号】
	8月	健活企業認定【全国健康保険協会岡山支部】
	4年 3月	事業継続強化計画認定【中国経済産業局長】
	5月	代表取締役社長に山崎篤史が就任し山崎保彦は取締役会長として留任
	5年 2月	岡山県BCP認定(地震・風水害・感染症)【登録番号:2023-012】
	6年 1月	自社消費型太陽光発電システム及び蓄電器(16.4kw)稼動

一 目 次

株式会社北陽商会 沿革	1
1. はじめに(～「環境経営レポート」20号発刊にあたり～)	2
2. 事業場の概要	3
3. 企業理念・環境理念・環境経営方針	4
4. 実施体制及び主な役務	5
5. 「環境経営20年」の軌跡	7
6. 20年間の環境経営状況	23
7. 今年度の取組と5ヶ年環境目標	25
8. 今年度の実績と考察	28
9. 環境関連法規の違反、訴訟等の有無	32
10. 代表者による全体評価と見直し結果	33
11. 次年度の取組と環境経営目標	34
12. 環境関連表彰及び事例発表の記録	36
13. おわりに(環境経営委員会)	37

1. はじめに

～「環境経営レポート」20号発刊にあたり～

会 長 山 崎 保 彦

平成18年5月17日、“エコアクション21認証・登録証”が届きました。

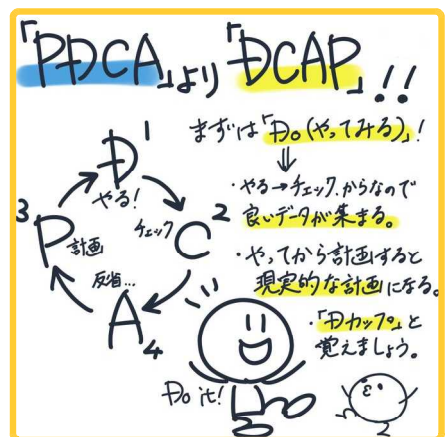
二十数年前、市内の整備工場は40数社あり、高齢化や人口減少、クルマの性能向上に伴い、入庫台数は減少の一途をたどり競争は激化する一方でした。生き残り戦略を模索する中、とあるセミナーで『企業が環境問題に取り組まなければ生き残れない』との話を聞き、平成15年「エコ整備」を導入。当時、日本のCO₂排出量の約18%をクルマが占め、その上、有毒排気ガスを出しており環境に悪影響を及ぼしている。翌々年には「京都議定書」が発効される。また、「自動車リサイクル法」の施行もある。

「エコ整備」とは「エンジン洗浄」や「オイル潤滑系統洗浄」など機器を使用し、燃烧室のカーボンを取り除く整備と、オイル循環系統に付いた古いオイル洗浄を図り、燃費を良くする環境に優しい整備。他にも「タイヤに窒素ガス充填」やクルマの電気の流れをよくする「アーシング」など。「クルマの環境保全エコ整備」を、プレスリリースしたところ『環境保全エコ整備人気』『北陽商会在環境サービスを始める』『エコ整備で環境保護に効果』など記事にいただいたのですが、なかなか目標台数には届きませんでした。

「エコロジー」でダメなら「エコノミー」でと発想転換し、「エコドライブの方法」から「燃費」と「CO₂排出量」を記入できるノートを配布したところ、燃料が高騰し始め燃費を意識される方が増え「エコ整備」も軌道に乗ってきました。次に「エコ整備」でオンリーワンを目指すには「ブランド化」したい。それにはロゴマークがいるとの思いで環境省が策定した「エコアクション21」のロゴマークを利用しようと認証登録を目指しました。

2004年版「エコアクション21ガイドライン」を学び、本来なら「PDCA」で進めるべきところを、現状を知りやってみないと分からないことから「DCAP」で三年前からの排出量や使用量を調べ、どうすれば削減できるかを社員から募集し課長会議で協議後、行動方針にまとめ仮の「環境レポート」を編集し社員に配布。社員のアイデアを入れた提案と校正した「環境活動レポート(Vol.2)」を作成し新規審査。

今期、第20号を発刊するにあたり、環境経営に取り組んだ20数年を振り返り、欄外にその年に何に悩んだのか、何を考えていたのか、何があったのかなど思いつくままに回想し欄外に記載しました。



【平成11年(1999年)】・・・12才の少女が「環境サミット」で語った“伝説のスピーチ”

一冊の本に出会う。世界の首脳を前にスピーチしたセヴァン・スズキ。1992年「環境サミット」最終日、議長の取り計らいで壇上に。12歳の少女のスピーチが終わったとき人々は立ち上がり拍手をしながら涙を流している。行き詰まったら読み返す。目頭が熱くなる！

2. 事業所の概要

[1] 事業者名

株式会社北陽商会
代表取締役社長 山崎 篤史

[2] 所在地及び連絡先

〒718-0011
岡山県新見市新見327-1
電話：(0867)-72-2173
FAX：(0867)-72-2270
Mail：hokuyo@mx3.tiki.ne.jp



持続可能な社会の実現
に向け、社会経済シス
テムの大転換が求められる
中、環境経営・SDGsへの
取り組みは、これからの社
会を生き抜くための必須
要件。新しい時代が来ても
も、お客様から選ばれる
「クルマ屋」になるために
社員と共に頑張ります。



[3] 事業の概要

【各種自動車販売】

軽四から特殊車まで、各メー
カーの新車、未使用車や中古車
は日本全国122ヶ所のオークシ
ョン会場から直接購入できます。

【民間車検工場】

車検・点検・一般修理・事故修理など、自動車のことなら
素早く確かな真心サポートの「中国運輸局指定工場」です。

【損害保険代理店】

自動車保険はもちろん、火災や旅行・ゴルフ保険などの損害保険代理店
で、事故処理から保険金請求、相手との示談交渉まで何でも相談できる
「事故対応能力専門認定代理店」です。

[4] 事業の規模 ※社員数は代表者を含む本年度の人数です。

年度 項目・単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
社員数 人	12	11	11	11	11
総面積 m ²	1,985	1,985	1,985	1,985	1,985

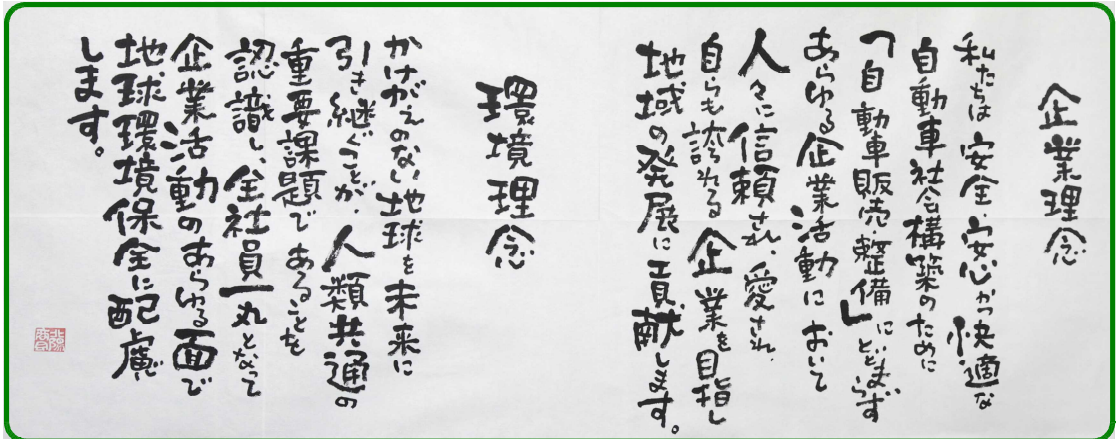
[5] 認証・登録の範囲【事業活動全般】

自動車の整備・販売、損害保険代理店業務

【平成12年】(2000年)・・・『どんな企業も環境問題に取り組まなければ生き残れない』

毎月第二金曜日に昼食をしながら開催している課長会議。セミナーで聞いた『環境問題
に取り組まないと生き残れない』との話をし「クルマ」と「環境問題」をテーマに雑談をして
みたが緑の山々に囲まれ環境の良い新見で「環境問題」に関心のある人はいるだろうか？

3. 企業理念・環境理念・環境経営方針



環境経営方針

環境保全推進体制を構築し、下記方針を定め全社員に周知し取り組みます。

- (1) 二酸化炭素排出量削減を推進します。
- (2) 廃棄物削減と分別処理を推進します。
- (3) 水使用量削減を推進します。
- (4) 化学物質を適正に管理し使用します。
- (5) 環境に優しい自動車販売とエコ整備・エコドライブ普及を推進します。
- (6) 自動車リサイクル部品や環境配慮商品による省資源化を推進します。
- (7) 経済・社会・政策等の状況を踏まえ、環境経営の継続的改善を推進します。
- (8) 環境関連法規制等を遵守します。

平成17年 5 月 1 日 制 定

平成29年 4 月 30日 改 定

令和 4年 5 月 1 日 改 定

株式会社 北 陽 商 会

代表取締役 山崎篤史

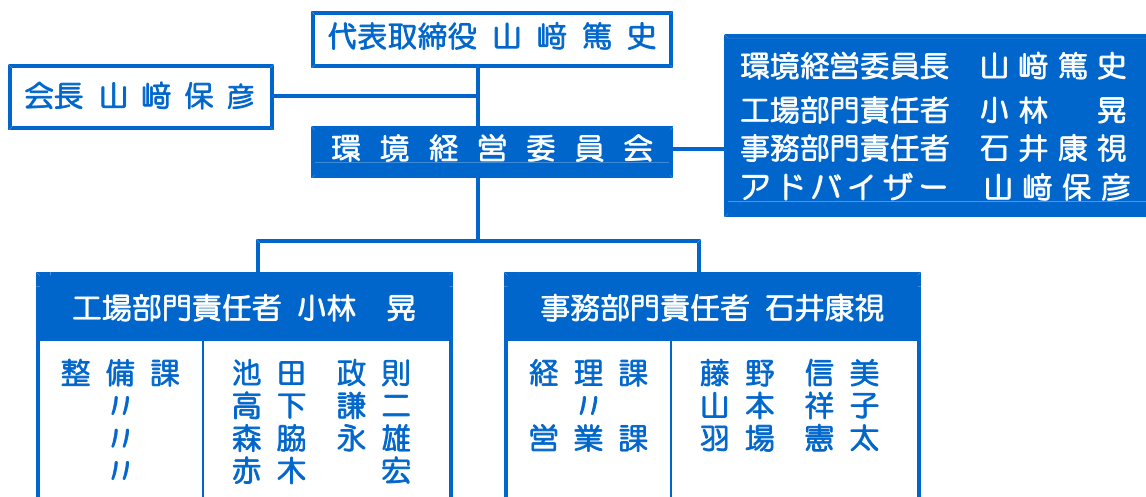


[平成13年(2001年)]・・・守屋雅夫氏が開発した『エコ整備』を知る。

損害保険会社セミナーで「エコ整備」を知る。エンジン燃焼室内のカーボン専用機器と洗浄液で取り除き「燃焼状態改善」古いオイルを除去し「有毒排気ガス低減」する整備。課長会議に提案。工場長から『燃焼室のカーボンはそんな簡単に取れない。』との発言！

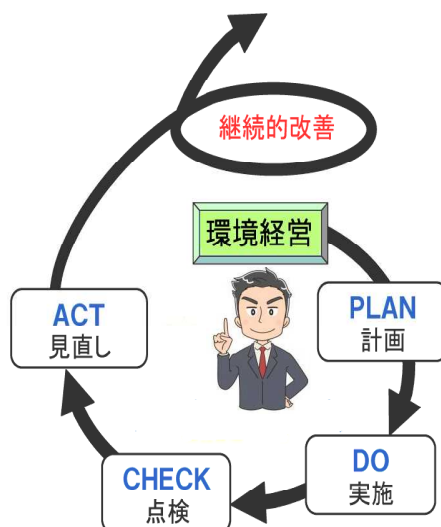
4. 実施体制及び主な役務

[1] 実施体制（令和5年4月30日現在）



[2] 代表取締役：山崎篤史

- (1) 企業理念・環境理念・環境経営方針の制定
- (2) 環境経営責任者及び各部門責任者任命
- (3) 環境経営システムの実施及び資源準備
- (4) 環境経営マニュアルの作成と変更
- (5) 四半期毎に環境経営の評価と見直し
- (6) 環境経営活動の評価と指摘と是正確認
- (7) 社内情報の外部公開可否の決定
- (8) 自動車リサイクルシステム情報管理
- (9) 環境関連法規のチェック(各種契約書等の管理)



[3] 環境経営委員長：山崎篤史

- (1) 環境経営委員会の総括運営
- (2) 環境経営レポートの編集責任者
- (3) 委員会で環境経営の実績報告
- (4) 環境経営システムを維持するための処置
- (5) 環境経営システム確立のための教育や訓練など部門責任者に指示・実施
- (6) 緊急事態想定と手順書の作成及び訓練実施

[平成14年(2002年)]・・・「トップダウン」で進めて良いのか？

「エコ整備」を開発した守屋氏に來社いただき、メカニクを中心に「エンジン洗浄」「オイル潤滑系統洗浄」を実践していただき、機器の使い方とその効果を解説。外部講師の説得は効果大。トップダウンで機器を導入すれば社員も納得し追従してくるだろうか？

[4] 環境経営委員会

(1) 委員長・各部門責任者とアドバイザーの役割

環境経営委員長：山崎篤史（代表取締役社長）

※環境経営委員会総括運営及び委員会議長・情報収集・教育訓練等
工場部門責任者：小林 晃（サービス課長）

※リサイクル部品使用促進・廃棄物流通・エコ商品拡販推進等

事務部門責任者：石井康視（営業主任）

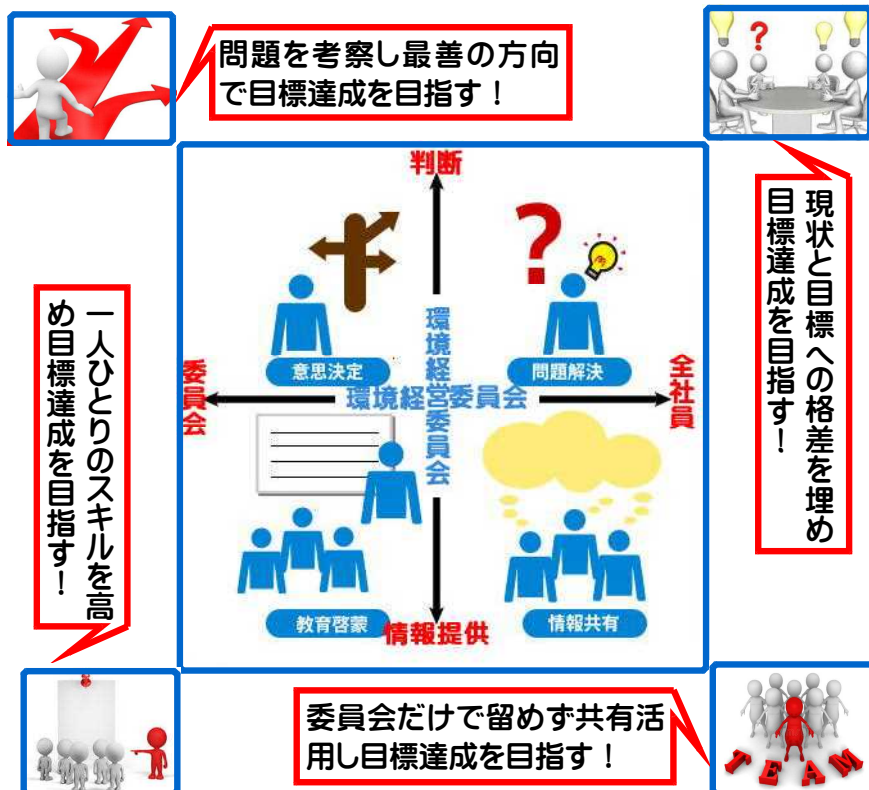
※省資源・省エネ推進・エコドライブ推進・車両販売と在庫促進等

アドバイザー：山崎保彦（会長）

※「環境経営レポート」編集についての助言及び、課題解決のために何をすべきかという具体的な行動にたどり着くよう、過去の経験や情報・知識を活かした助言等を行う。

(2) 環境経営委員会の概要

毎月第2金曜日12時～14時開催とし、昼食を共にしながら「エコアクション21」の要求事項の構築、実施、管理及び進捗状況の調整と推進方法の提案を行うと共に、内部コミュニケーションの充実を図る。



[平成15年(2003年)]・・・パイロット事業「エコアクション21」募集情報。

守屋氏から『エコアクション21のパイロット事業の情報』が入る。「課長会議」で検討したが、環境マネジメントシステムの構築・運用、環境への取組の実施及び環境活動レポートの作成・公表・・・何を構築し運用するのか?どんな取組をするのか?さっぱり解らない?

5. 「環境経営20年」の軌跡（取組・実践で特に印象に残った出来事）

2000年

- ⇒ 「環境問題と企業経営」をテーマにしたセミナーへ参加。
『これからの企業は「環境問題」に取り組まなければ生き残れない』との講演を聞く。

2001年

- ⇒ 損害保険会社のセミナーへ参加。
特殊な機器と洗浄液を使ってエンジン燃焼室にたまったカーボンを除去し、完全燃焼させるという「エコ整備」を学ぶ。課長会議で検討したが結論が出ない。講師を招き全社員で「エコ整備」を実践し、メカニックの意見も聞き導入について話し合うことにした。



2002年

- ⇒ 講師を招き「エコ整備」を全社員で実践。
メカニックは、燃費向上が目に見えないだけに疑問を持つ。ボトムアップで導入したかったが、同業他社との差別化を図るために、トップダウンで「エンジン燃焼室洗浄機」と「オイル循環系統洗浄機」を次年度導入することにした。ただし10年後には「ハイブリッド車」や「EV車」が増えるだろうから10年間のリース契約にする予定。

2003年

- ⇒ パイロット事業「エコアクション21」の募集情報が入る。
「ISO14001」を検討中。守屋氏から提案のあった「エコアクション21」を比較検討し、次年度、一年の年月をかけ「エコ整備」を主軸に「エコアクション21認証登録」に向けての勉強会をすることにした。

2004年

- ⇒ 「エコ整備」の販売戦略。
『地球環境を守ろう！』とのスローガンで「エコ整備」の販売を始めたが思うように売れない。考え方を、「エコロジー」から「エコノミー」に切替『燃費ケチになろう！』に変更。その結果「エコ整備」が浸透し始めたので、守屋氏に相談しながら課長会議で「エコアクション21」必須12項目を整理、レポートは社員で校正することにした。

2005年

- ⇒ 「エコアクション21」の認証登録新規審査を受ける。
「エコアクション21」審査員からの指摘もあったが無事終了した。

【平成15年(2003年)】・・・トップダウンで「エコ整備」と「エコアクション21」導入決定。

守屋氏から『環境省策定の「エコアクション21認証登録」にあたり「課長会議」を「環境委員会」に変更すべき。「エコ整備」は営業よりメカニックが先頭に立ち、お客様に効果を説明しなければ売れない』とのアドバイス。オンリーワンを目指しトップダウンで導入決定！

2006年

⇒ 5月16日付で“EA21認証登録証”が届く。

国道沿いに高さ5m幅2mの支柱に大きな看板を掲げ、『環境省策定 環境マネジメントシステム“エコアクション21”』、真ん中にロゴマーク、その下に黄色下地に「燃費向上エコ整備」を入れ、エンジン洗浄・オイル潤滑統洗浄等のエコ整備が目立つようにした。



⇒ 香川県自動車整備振興会から来訪。

「エコアクション21」の認証登録をしたいと14社が来訪。エコ整備や工場内を案内し、認証登録に必要な項目を解説すると共に、弊社の資料とレポート等をDVDにして配布した。



(新聞から転用)

⇒ 「2007年版エコアクション21ガイドブック」取組事例募集に応募。

⇒ 岡山県へ「岡山エコ事業所」の申請。

岡山県環境部循環型社会推進課を訪問し「岡山エコ事業所(一般)」の申請をしたが「ISO14001登録事業所」しか受け付けないと言われ、ISO14001とエコアクション21の比較表を提示、エコアクション21にはCO₂削減目標、レポート公表があるが、ISO14001は必須では無い「岡山エコ事業所」は県民に広く周知するとある。翌日、電話で「岡山エコ事業所授与式」に参加してほしいとの連絡があった。

2007年

⇒ 「ぼっけい・減らせい・CO₂コンテスト」へ応募。

地球温暖化防止に向けた「CO₂削減」への取り組みを、各県代表の全国大会に向け、岡山県内での募集があり応募した。「一次審査」を通過した16団体には、その取組を大きなパネルにしてもらえた。「二次審査」は県民投票と専門家の意見で決定し全国大会に、『燃費が25%アップのエンジン洗浄など「環境エコ整備」でCO₂削減に貢献しています』とのタイトルでいかにCO₂が削減できるかを記載したが残念ながら選ばれなかった。



【平成17年(2005年)】・・・「エコアクション21」現地審査で騒音・振動届出書が見当たらない。

現地審査に当たり環境委員会で作成した「環境活動レポート」を全員で校正し、必須項目の書類を再確認。全社員に「エコアクション21」とはなにか、なぜ取組むのか、どんな取組みをしているのか、またしていくのか、自分の役割はなにか等、審査前に理解を深めた。

2008年

⇒ 「2007年版エコアクション21ハンドブック」取組事例に紹介される。

⇒ 「岡山エコフェスタ2007」へエコ整備の機器を持参し参加。

⇒ 県知事より「岡山県地球温暖化防止活動推進員」を委嘱される。

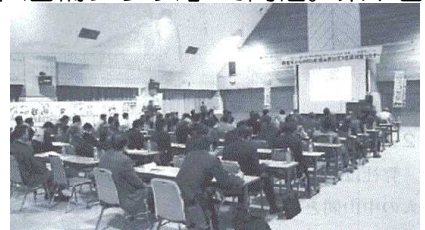
⇒ 岡山運輸支局長より「環境保全優良事業所」の認定を受ける。

⇒ 市内の企業で「エコ安全ドライブ講習会」を開催。

取引先企業3社(総参加者数:約80名)で『エコドライブを实践し10%燃費が向上したらいくら得するか?』とのタイトルで講習会を実施。どの企業に於いても、社用車は計算してないが通勤車両の燃費計算はしているようなので、エコ安全ドライブ方法を一通り解説、もっと燃費良くするには燃料を完全燃焼させること。そのためには燃焼室のカーボンを取り除く「エンジン洗浄」が効果的。「エコ整備」は他にも「オイル潤滑系統洗浄」「アーシング」などがあることを提案した。

⇒ 「自動車からのCO₂削減 & 排気ガス低減対策セミナー」を開催。

岡山県の真ん中にあたる「吉備高原都市(吉備プラザ)」で開催。県下各市町村の後援をいただき、各地から約100名、運送業社長や車両担当者が参加され講師から、「エンジン洗浄」や「オイル潤滑系統洗浄」、「アーシング」等について解説していただいたおかげで県下に「エコ整備」が広まった。



(新聞から転用)

⇒ 月刊誌「ISOマネジメント」に紹介される。

弊社「エコアクション21」の審査人が、「エコ整備」の導入から、なぜ認証登録をすることに至ったのか、社員とのコミュニケーションをどのようにして成功させたのかを紹介して下さった。



⇒ 「岡山エコフェスタ2008」へエコ整備の機器を持参し参加。

「エコ安全ドライブ」のチラシを配布し「エコ安全ドライブの方法」と「エコ整備」について会場で発表した。

【平成17年(2005年)】・・・「環境専門誌」VS「新聞記事」「テレビ放映」

マニアックな専門誌に詳しく載るより、小さな新聞記事や短時間でもテレビ放映になる方が効果的。社員が『新聞やテレビに出てたね!』と褒められると、褒められた社員は仕事に自信、会社に誇りを持つ、それは仕事への向上心につながり、お客様の信頼を育む。

2009 年

⇒ 岡山運輸支局長より二度目の「環境保全優良事業所」の認定。

⇒ 月刊誌「資源環境対策」に掲載される。

5月号に弊社の「エコアクション21」の認証登録をなぜしたのか、また「エコ整備」とはどのような整備なのか等の執筆依頼があり、「エコアクション21」の認証登録をするにあたり苦勞したことや「エコ整備」を始めたが売れなかったのが、なぜ売れるようになったか等を書かせていただいた。



⇒ 「環境コミュニケーション大賞」へ応募。

「エコアクション21」の審査人に、環境主催「環境コミュニケーション大賞」への応募を勧められ「環境レポート部門」に応募。

2010 年

⇒ 環境コミュニケーション大賞レポート部門で「優秀賞」受賞。

⇒ 岡山運輸支局長より「環境保全優良事業所」三度目の認定。

⇒ 岡山県知事より「岡山県地球温暖化防止活動推進賞」を受賞。

⇒ 衣川益弘教授(鳥取環境大学)エコ整備(エンジン洗浄)実験。

CO₂削減への取組として、3～10万km走行したガソリン車、軽油車、ハイブリッド車10台を、「エンジン洗浄」をする前と洗浄後の燃費を比較したところ、走行距離の多いディーゼル車は最高1ℓあたり25km向上、ガソリン車の最高は18km、平均で15kmの燃費が向上。ハイブリッド車は走行距離も少なかったためか効果は無かった。

2011 年

⇒ 月刊誌「環境ビジネス(日本ビジネス出版)」3月号に掲載される。

『環境経営は不況期の企業を救うか“エコ整備普及にEA21活用”』のタイトルで、自動車整備業界の生き残りをかけ「エコ整備」を導入「エコアクション21」のロゴマークをエコ整備のシンボルマークにし、ブランド化を推進してきている。そのことで、企業の信頼性が生まれ、企業イメージの向上と社員の意識改革が育まれたと紹介された。



【平成18年(2006年)】・・・岡山県環境課「岡山エコ事業所(一般)」へ申請

申請書を提出したがISO14001事業所しか受け付けないとのこと。何故ダメなのかとISO14001とエコアクション21の違いをご教授下さいとお願いしたがまったく回答が返ってこない。岡山県環境課の人は、ISO14001もエコアクション21もよく分かっていないのか？

⇒ 中国運輸支局長より「環境保全優良事業場」の認定。

岡山運輸支局長表彰を3回連続受賞したので、本年度は他社の模範として、廃棄物適正処理やリサイクル部品の使用促進、エコ整備によるCO₂削減、使用済み自動車の適正処理、フングスの回収などを堅実にやっていることが認められ「中国運輸局長表彰式」があった。受賞者を代表し取組内容等を発表し謝辞とした。



(新聞から転用)

⇒ 敷地内洗車場に井戸を掘り地下水利用。

水使用量は年間約600m³、その内約80%の480m³を洗車に使用している。これまで全て上水を使用していたのでCO₂排出量は約120kg。地下水を洗車に利用することで、ポンプの電気使用を考えても、100kg以上の削減になり水道も下水道料金も掛からない。上水と下水道料金の削減ができた。



⇒ 地元新聞と連携し「エコ整備読者プレゼント」。

「エコ整備」の普及活動として、備北民報(地元新聞社)と連帯し『イチ押し商品読者プレゼント』に「エンジン洗浄」を掲載。多くの応募があり、当選された3台は無料で、また、抽選から外れた方に「割引券」を送付したところ数台の依頼があった。(新聞から転用)



⇒ 第3回「エコ整備フェア2012(大阪)」へ参加。

最新のエコカー体感コーナーや車体整備講座などを通じて「エコ整備」の推進や電気自動車・ハイブリッド車普及推進、整備・車体整備工場の省エネや環境への取組み、新しいビジネスモデルの提案による経営支援など、最新の機器を展示するイベントに参加した。



[平成20年(2008年)]・・・「エコドライブ講習会」で「エコ整備」をPR

代表者に燃費が向上した分の燃料代をキャッシュバックする事を提案し、代表者の冒頭挨拶でその話をさせていただく。『社用車の燃料費はどのくらい?』と聞いても社員の反応は薄い。エコドライブで燃料代が10%ういたら、いくらキャッシュバックが?本気で聞く。

2013 年

⇒2012年度「経営者環境力大賞」を受賞。

「経営者環境力大賞」はNPO法人環境文明21と日刊工業新聞社の共催で実施。中小企業経営者を対象に環境文明21が調査研究しまとめた「21世紀をリードする経営者の資質12項目」を基に評価し顕彰する制度で弊社の取組が認められ事例発表をした。



⇒ 岡山エコ事業所(ゼロエミッション)認定。

岡山エコ事業所(ゼロエミッション)の認定授与式が県庁舎で行われ、ゼロエミッション認定事業所を代表し、エコアクション21を通しての取組を発表し謝辞とした。



⇒ AIRジャパン「グリーンショップ大賞」を受賞。

AIR「グリーンショップ大賞」とは、損保ジャパンの優良自動車整備事業者代理店全国組織「AIRジャパン」が、環境保全活動を継続的に推進している優秀会員を表彰する制度で、東京本社にて行われた。全国で一社ということで代表取締役社長 櫻田謙悟氏と撮影。なお「AIRジャパン」は2012年グリーン購入ネットワークが主催した「第14回グリーン購入大賞」を受賞してる。



⇒ 事務所1階の業務用エアコンを省エネタイプに取り換え。

15年前の業務用エアコンを、省エネ性能に優れている製品に取り替えた。エネルギー消費量が約40%削減するので、CO₂排出量は年間で約300kg削減できるとのこと。

2014 年

⇒ 第17回「環境コミュニケーション大賞」で大賞(環境大臣賞)受賞。

手に取りやすくA4版からA5版に変更し、また、各ページを開いてもらうために偶数ページに「環境関連のクイズ」を載せ、奇数ページに「解答と解説」。自社事業に即した「マイカー点検教室」などの啓蒙活動や「市街地清掃活動」などの社会貢献活動にも力を入れている点が評価された。



[平成21年(2009年)]・・・「地球温暖化防止活動推進員」を委嘱される

『地域における地球温暖化防止活動の普及啓発等』の推進役という依頼。環境問題を学び「エコアクション21推進」に役立つのでは？商工会議所に話をし環境省中国四国地方環境事務所、岡山県、新見市、それぞれの立場から「地球温暖化防止対策講演会」を開催。

⇒ 「日経エコロジー」に掲載される。

中小企業の環境経営“小さい会社の大きな改革”収益力向上に直結させる。『経営資源が限られた中小企業も環境経営は実現できる。身の丈に合った独自の方法で経営を進化させた小さな巨人を紹介する』との紹介文でエコ整備から「エコアクション21」へ取組、どのように収益を生んだかが紹介された。



⇒ 「中小企業が生き残る環境経営」で事例発表。

主催(公財)岡山県環境保全事業団に於いて、岡山コンベンションセンターで開催された。エコアクション21中央事務局長森下研氏の『企業を取り巻く環境変化と環境経営の方向性』のプレゼン後、地元企業の取組(環境配慮サービス)で“環境に視点を向けたことは有効な手段だった”とのテーマで事例発表をした。



⇒ 中央事務局認定「審査人力量向上研修会」で事例発表。

中国ブロック地域事務局主催で開催された「審査人力量向上研修会」には、中央事務局参与松田布佐子氏がお見えになっており、せっかくのチャンスなので弊社のレポートの感想をお願いした。『詳細なデータ報告と環境問題のクイズを織り交ぜ楽しくわかりやすい内容。データが多すぎて読むのに疲れた』との講評をいただいた。

⇒ 「AIRオートMAIL(vol.1)」に環境経営への取り組みを掲載。

日本で最大規模の優良自動車整備業者ネットワークの「AIRオートMAIL」発刊号に取組が掲載された。



⇒ 高知県「環境経営フォーラムin高知」で事例発表。

高知県地球温暖化防止県民会議の主催で、環境にやさしい経営を考えるフォーラムに参加。基調講演は枝廣淳子氏で『わたしたち一人ひとりにできること～持続可能な環境社会をめざして～』の講演の後、環境配慮型経営を進めている企業として事例発表をした。



2015 年

【平成21年(2009年)】・・・イベント「STOP温暖化～エコライフに挑戦～」を開催

『体験コーナー』は「ミニソーラーカー作り」「エコバック作り」「マイ箸袋作り」「廃油でキャンドル作り」。『展示コーナー』は「地球温暖化パネル展」「地球温暖化クイズ全問正解者に景品」。『学習コーナー』は環境省推奨「林家ライス・カレー子師匠」による環境漫才。

⇒「3R・低炭素社会検定」に合格。

未来の子々孫々まで地球という家で生き生きと生きていくには、これ以上の破壊的な活動は許されないというのが3R。受験勉強したことで事業活動や日常生活の中で、持続可能な社会や二酸化炭素削減を考える良い機会になった。



⇒「地球の未来へ今できること(環境省)」に掲載。

「エコアクション21は中小企業向けの環境経営システムで、簡単で無理なく導入できて認証取得も容易。「簡単」「無理なく」「容易」というキーワードは劣せずしてできるという意味ではない。会社の経営システムを構築するのだから、それなりの苦労は必要で、認証取得だけではメリットはなく、登録後の取組で差が出ると紹介された。



⇒「第10回EA21全国交流研修大会」へ参加。

エコアクション21を発展させるために「地球の未来を考える～審査人としての俯瞰力」をテーマに開催され、分科会にて優れた取組を行っている事業者の一人として事例発表とパネルディスカッションに参加した。



⇒「公立鳥取環境大学“中尾ゼミ視察”」の受入。

経営学部中尾ゼミ3回生と教員1名が、「フィールド調査」で来社。環境経営を行う上での苦悩や工夫などをゼミ生に発表。学生にとって普段のゼミと違い、卓上よりも実践している視点で学ぶ良い機会になったと思う。



2016 年

⇒『中小企業が“環境”をダシに儲ける本』に掲載。

「小さな会社の大きな改革収益力向上に直結させる」とのタイトルで、「エコ」を切り口に社員が一丸となり、エコアクション21をうまく利用し、逆風に立ち向かった自動車販売整備会社として、トップが独走しては「環境経営」は成功しないと紹介された。



[平成22年(2010年)]・・・商工会議所主催「環境経営セミナー」の開催

講師は藤本春男氏(エコアクション21審査人)と水田有氏(エコアクション21地域事務局)。藤本氏は弊社の審査人で、水田氏とはエコアクション21の普及促進を図ると共に環境負荷の削減及び弊社の取組や業務改善に当たり相談にのっていただいた経緯がある。

⇒ 月間冊子「環境」に掲載。

発行は(公財)岡山県環境保全事業団。タイトルは『環境省の認証を生かしブランド力を強化』岡山県環境保全事業団は「エコアクション21認証登録事業者」とであると共に地域事務局としての役割も担っており、持続可能な社会の構築と認証登録事業者を増やすことを目的に様々な事業活動をしており、弊社もできるだけの協力をしている。



2017 年

⇒ 「エコアクション21」を継続して10年！

認証登録して10年目を迎えましたことをご報告するとともに、弊社の取り組みにご協力いただきました全てのステークホルダーに感謝と共に心より熱く御礼を申し上げます。今後も「エコアクション21」を通して、脱炭素社会の実現へ向け全社員一丸となって尽力したいと考えてますので、引き続きご支援ご協力お願い申し上げます。



⇒ 「朝日新聞」ちゅうごく経済に掲載。

「環境」をうたい文句にすれば、ナンバーワンは無理でも、オンリーワンにはなれるのではとの思いで始めた「燃費向上エコ整備」の導入。しかし、思うように売れない。そこでブランド化するために「エコアクション21」のロゴマークをエコ整備のシンボルマークに利用しようと思い認証登録。原油価格の高騰もあり販売方法も「エコロジーからエコノミー」に変更し「ケチなろう！」を合い言葉にしたところ思わぬ反響があり在庫台数は増えていった。



(新聞から転用)

2018 年

⇒ 「SDGs」への取組を発表。

年頭会議に於いて「SDGs」への取組を発表。全社員にSDGsに関する資料を配付し取組への意識向上を図ると共に、弊社の事業にあった取組できそうな内容を、ブレインストーミングで行う。

【平成26年(2014年)】・・・第17回「環境コミュニケーション大賞」で環境大臣賞を受賞

ついにやった「石原伸晃環境大臣賞」。2014年の認証登録7,554事業所の中でナンバーワン。プレスリリースのタイトルは「環境大臣賞受賞」かな？環境コミュニケーション大賞で大賞受賞は、自動車整備工場では全国で初の快挙。新聞記事やテレビ放送は強い！

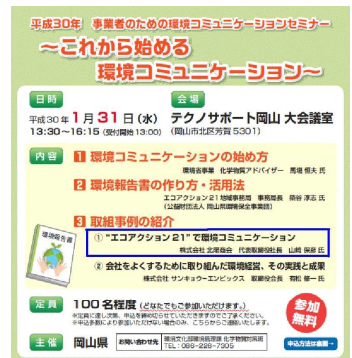
⇒ 全照明をLEDに交換及び火災報知器の設置。

工場内水銀灯(10箇所)をLED照明(12箇所)に、事務所内他の蛍光灯等(約50本)をすべてLED照明に交換、合わせて「電力の見える化(デマンド監視装置)」を設置。また、万一の火災に備えて「火災報知器」を設置し全社員で使用方法を確認した。



⇒ 岡山県主催「これから始める環境コミュニケーション」で事例発表。

「エコアクション21」の取組内容や必須である「環境経営レポート」を、ステークホルダーに配布すること、また、お客様の待合スペースに置いておくことで、自社の環境活動への取組や、環境に関する様々な情報をステークホルダーと共有し、コミュニケーションツールとして利用している。その発表内容は、後に岡山県発行の「環境コミュニケーション」のパンフレットへ掲載された。



⇒ 「エコアクション21セミナー」で事例発表。

広島県主催、エコアクション21認証登録事業者としての目標設定方法、人材育成に役立つ活用方法、取組のメリット、環境コミュニケーション大賞を受賞すれば新聞記事になり、社員はお客様に褒められ会社に誇りを仕事に自信を持つ、それはお客様の信頼を得れると事例発表。



⇒ 「西日本豪雨災害」の募金活動。

7月5日から発生した豪雨災害は新見市にも広い範囲で農地や建物への浸水、土砂流入などの被害が出た。被災された皆様にお役に立てればと義援金募金箱を設置、お客様や社員から¥30,297円の浄財が集まり寄贈した。



2019 年

⇒ EA21とSDGsの紐付け。

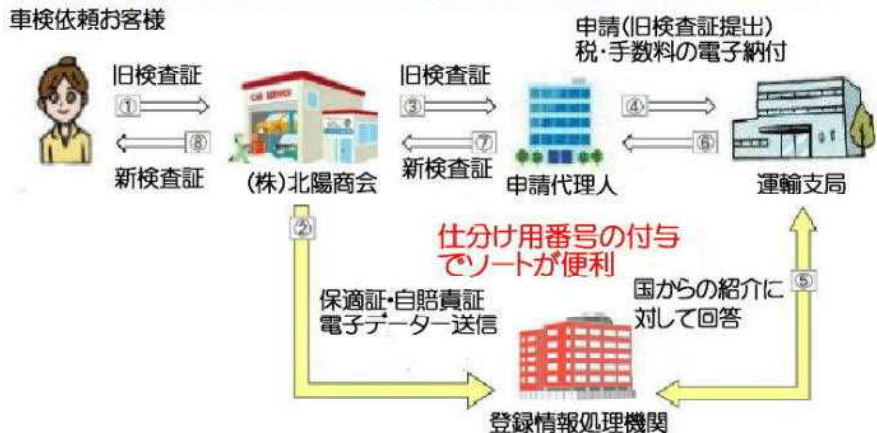
「エコアクション21 & SDGsで強い会社づくり」を目指す。

【平成26年(2014年)】・・・第17回「環境コミュニケーション大賞」で環境大臣賞を受賞

(株)滋賀銀行・清水建設(株)・キリンホールディングス(株)・ソニー(株)と弊社。品川プリンスホテル表彰会場の前列に間隔を開け5社の代表者が並ぶ。名刺交換が終わり。1社ずつ呼ばれ壇上に・・・緊張で足が震える。深呼吸。渡されたのは表彰状のみ。これだけ？

⇒ 自動車電子手続「ワンストップサービス」導入。

電子納付により納税効率化 & 旧車検査のチェックの高速化



「ワンストップサービス」を導入したことで、申請書類等を自社のコンピュータにて入力し、電子データで送信、税や手数料も電子納付することで作業時間が短縮でき、運輸支局で印紙を買うために現金を持参することもなく運輸支局で待たされることもなくなりました。

⇒ 「みんなの体操講習会(唐松荘)」を開催。

高齢者福祉施設「唐松荘」で生活されている方や、当該施設でケアを担当されている職員の健康維持・向上のためにNHK「みんなの体操」に出演されていた田村恵美先生をお招きした。



⇒ 「自転車交通安全教室」を開催。

プロのスタントマンが自転車事故を再現する「自転車交通安全教室」を思誠小学校体育館で開催。同校の3年生～6年生を対象に、先生方のご協力を得て約120名が事故の怖さを目の当たりにし、小さなマナー違反が事故に繋がる体験をした。



⇒ 「第14回EA21全国交流研修大会in倉敷」参加。

審査人研修講師の和仁達也氏の著書を読んで以来、ファンになり聴講してみたいとの想いで参加した。



【平成26年(2014年)】・・・「中国ブロック審査人力量向上研修会」で事例発表

突然、事例発表の依頼、聴講者はエコアクション21審査人。『弊社は環境経営をしているという意識はない』。こんな言い方すると反感をかうかな? と思いつつ、最後に『事業者の現実や本音を知ったうえで、審査に当たってほしい』とお願いした。言い過ぎたかな?

2020 年

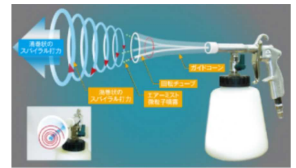
⇒ 「おかやまプラスチック3R宣言事業所」登録。

プラスチックは非常に便利な素材だが、海洋プラスチックごみ問題など、環境に及ぼす影響が世界的な課題となっているため、岡山県が募集したプラスチックごみ削減の取組を目的にした、「プラスチック3R（排出抑制、再使用、再生利用）宣言」をする事業所として登録した。（登録番号5）



⇒ コロナ禍対策「車内抗菌フレッシュAg+」発売。

除菌抗菌消臭剤として「フレッシュAg+」の車室内用の取り扱いを始めた。銀イオン、チタンイオン、亜鉛イオンの三種類のイオンを一つに結合した薬剤を5ミクロンの微粒子にできる専用のトルネードガンで車室内の隅々まで薬剤を噴霧し除菌抗菌作業。



⇒ 「ラジオ体操優良団体等表彰」を授賞。

NHK・全国ラジオ体操連盟他よりラジオ体操の普及推進の功績が認められ表彰された。新見市と共催で始めた「ラジオ体操講習会」を今後も市民の健康寿命延伸のため続けていく。



表彰状を受け取る山崎さん(左)
(新聞から転用)

⇒ 「生産性向上補助金」を利用。

メカニックの動線を考え、2柱リフト4台と4柱リフト1台をリフトの間隔を十分に取り、最新式2柱リフト4台にし、コンプレッサーも一段圧縮から最新式二段圧縮に取替た。

2021 年

⇒ 岡山県“省エネWEBセミナー”で事例発表。

岡山県環境文化部が「令和2年度岡山県省エネWEBセミナー」を開催するにあたり、『コロナ禍で事業活動への影響がある中、省エネでコスト削減できたのは「エコアクション21」の認証登録したおかげで、省エネへの対策を創意工夫した。』と省エネへの取組を発表した。



【平成27年(2015年)】・・・環境大臣賞を受賞後「事例発表」が増えたのは良いが・・・

「事例発表」は大変。結論から話せと言われるが時系列で話す方がたやすい。主催者が何を期待してるのかを把握し、話す順序をパワーポイントで制作。まずは聴講者に興味を持ってもらえなければ最後まで聞いてもらえない。聴講者と主催者が満足したかが心配。

⇒ 「自動車特定整備事業」の認証を取得。

自動車特定整備認証とは「電子制御装置整備」に必要な整備主任者・工具・スキャンツール等を備えた事業所のことで、中国運輸局長より認証を取得した。



⇒ 「緑十字銅賞」を受賞。

弊社の「優良安全運転管理者」が、(一財)全日本交通安全協会より、多年にわたり交通安全活動に尽力し功績等があったということで、交通栄誉賞「緑十字銅賞」を受賞した。この名誉に恥じないようこれからも社員一同、心と時間に余裕を持って安全運転とエコドライブを心がけます。



2022 年

⇒ 「岡山県BCP(風水害・地震)認定」に認定。

岡山県は、災害等不測の事態が発生した場合でも、事業を継続するために必要なBCP(事業継続計画)について、優れた取組や、取引先や地域と連携した取組を行う事業者を認定することにより、BCP策定や優良な取組の普及を図るため、『岡山県BCP認定制度』を実施することになり、弊社は★★が認定された。



⇒ 「事業継続強化計画」認定。

近年、大規模な自然災害が全国各地で頻発する中、今般の新型コロナウイルスなどによる感染症の災害が顕在化し、この先、大規模な自然災害と感染症の併発までも騒がれている。こうした事態に対し、中小企業庁が策定した防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業省から認定された。



⇒ 「2021年度ラジオ体操優良団体等表彰」を受賞

NHK・全国ラジオ体操連盟他より、毎朝朝礼前に行う「ラジオ体操」を50年間継続している功績が認められ県優良表彰を授与された。



(新聞から転用)

平成27年(2015年)「第10回全国交流研修大会」へ参加

安井至氏の基調講演「地球の未来を考える～審査人としての俯瞰力」で始まった。分科会の事例発表が気になってよく聞いていなかった。第二部の分科会は4社、弊社・GE・小林工業・来ハトメ工業、環境コミュニケーション大賞授賞式で皆さんと顔なじみ…ホッ！

⇒ 「金属アーク溶接作業主任者」を選任。

労働安全衛生法に定める金属アーク溶接で発生する溶接ヒュームが、特定化学物質になるので技能講習の修了資格を有する者の中から「金属アーク溶接作業主任者」を選任することになり山崎篤史が技能講習を受講した。



⇒ 広島県主催「脱炭素×SDGs×EA21」受講。

『国際的な目標である「SDGs」と「脱炭素経営」への取り組みと、EA21環境経営方針や事業計画は関連付けることができる。エコアクション21を推進していくことは、SDGs・脱炭素経営へ取り組むことである』との講演があり、弊社では環境文明21藤村代表の関連図のように「EA21×BCP×脱炭素＝SDGs」と解釈し今後も環境経営を推進していく。



⇒ 倉敷市・高梁市主催「SDGsセミナー」受講。

講師水野雅弘氏から「SDGsが生み出す未来のビジネス」と題し、なぜ中小企業はSDGsに取り組まないといけないのか、SDGsを取り入れた持続可能な企業経営とはどういうことなのかとのレクチャーがあり、その後、数名のグループに分かれKJ法による「ワークショップ」が行われた。



2023 年

⇒ 太陽光発電導入はPPAかリースか。

PPAとは電力販売契約という意味で、企業が保有する施設の屋根などを事業者に借し、無償で発電設備を設置。発電した電気を企業が使うことで電気料金とCO₂排出の削減ができる。PPAかリースどちらで設置するか？



⇒ 「岡山環境フォーラム」参加。

「SDGs」「脱炭素」をテーマに、博報堂DYホールディングス川延昌弘氏が、『SDGsの取組みに向け、官民で連携する仕組み作りが大切だ、地球の資源は有限でありいつまでもあると思うなかれ、有限な資源をどう使っていくかを考えていくことが大人の責任だ』との講演があった。



[平成27年(2015年)]・・・「鳥取環境大学」との縁で思わぬ人脈ができた。

鳥取環境大学中尾助教授から事例発表依頼。場所は神戸大学、聴講者は20名くらい。主催は國部克彦先生の「神戸CSR研究会」。深く考えもせず引き受けた。滋賀県立大・帝塚山大・大阪女学院大の助教授や講師、國部先生のゼミ生他・・・凄い人脈ができた。

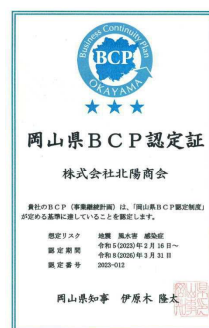
⇒ 岡山県「省エネWEBセミナー」に参加。

社員にとって省エネが我慢、節約というイメージでなく、新しい事業スタイルであるというイメージの構築を図ることが重要なポイント。『事業活動、事業場の環境仕様など省エネの理解を深め省エネに向けた行動を実践することで社員意識の醸成を図り、省エネ型の新しい事業スタイルを定着』との講演があったが、弊社はエコアクション21の取組を通して培ってきた。



⇒ 岡山県「BCP認定事業者★★★★」に認定。

昨年は「岡山県BCP認定制度」に於いて、「地震」と「風水害」の★★2つが認定された。この制度にはもう一つ「感染症」がある。残念ながら「感染症」は昨年認定していただけなかったもので、本年度、改めて「火災」「風水害」「感染症」を進化させ応募したところ★★★★3つ共に認定された。特に「感染症」に於いては、その特徴を把握し社員の感染防止への意識を高め、感染予防対策と健康管理の方法を記載した。また、感染症対応をとるための企業体制を整備し、研修や訓練を行ったことで認定された。



⇒ 「太陽光発電パネル&蓄電池」を設置。

PPAがリースかで悩んだが、リース契約で太陽光発電パネルを管理会社が蓄電池と共に設置した。このシステムで発電された電力を弊社で利用し、余りは中国電力へ売電する。導入することで推定10,000kwh/年の発電量があり電気使用のCO₂排出量が約37%削減できる計算になる。



⇒ 「記録等事務委託制度」認定。

令和1年5月に「道路運送車両法」の一部改正する法律により、令和5年1月から自動車検査証を電子化すると共に、継続検査に係る自動車検査証への記録等に関する事務及び自動車検査証の変更登録等に関する事務を、国土交通大臣が一定の要件を備える者に委託する制度（記録等事務委託制度）が創設され、その代行者としての認可を受けた。これにより、オンラインで様々な申請ができるようになり、継続検査等で運輸支局等への来訪が不要になった。

特定記録等事務代行者	
氏名又は名称	株式会社北陽商会
委託をした運輸支局長又は運輸監理部長（並行して十団体の間の規定の適用があるときは、軽自動車検査協会）	岡山運輸支局長 軽自動車検査協会

⇒ 「SDGs×EA2」セミナー」オンライン参加。

広島県主催で、講師は弊社の取り組みを記載された「環境をダシに儲ける本」の著者飯田哲也氏。『時代にマッチしたアイデアとそのアイデアを実行して改善する決断と勇気。考え方を改善することが大きな前進。時代は日々刻々と変化している。企業もその流れに沿って様々な改善を続けなければならない。今や環境を考えずに商いを続けることは不可能だ』と話された。



⇒ 「脱炭素経営セミナー」オンライン参加。

脱炭素経営にはどんなメリットがあるのか、二酸化炭素排出量の可視化の方法。企業価値を高め、ビジネスチャンスを想像する環境に優しい脱炭素経営実現に向けてのオンラインセミナーに参加した。



⇒ 「EA2」スキルアップ研修(ECO-KEEA九.環協)」オンライン参加。

⇒「環境経営実践講習会(広島市)」に参加。

来ハトメ工業(株)の石原隆雅氏が事例発表。石原氏とは「環境コミュニケーション大賞授賞式」で何度も顔を合わせている。テーマは「秘伝！CO₂99%削減の術」。同じ会場で事例発表したのは「第10回全国大会」、『中小企業が“環境”をダシに儲ける本』にも互いに掲載された。良き友であり、良きライバルである。

2024 年

⇒ 環境省が「テコ活アクション」を発表。

昨年、環境省が「デコ活」を発表。「脱炭素」の認知度は浸透しているが「脱炭素」を意識して行動している人は少ないとすることで始まった。「エコアクション21」に取り組んで20年。中小企業だから社員は職場でのエコ活動を家庭でも実践。家庭でも削減してきている。

⇒ 「新見市の里山資本とまちづくり」へ参加。

里山資本とは、お金だけに依存するのではなく、山や森といった、お金に換算できない自然の地域資源に付加価値を与えることによって、持続可能で安心な地域社会をつくろうという資本主義のカタチ。新見市は「人口戦略会議」で若年女性人口減少率が悪化し消滅可能性の自治体に入っている。

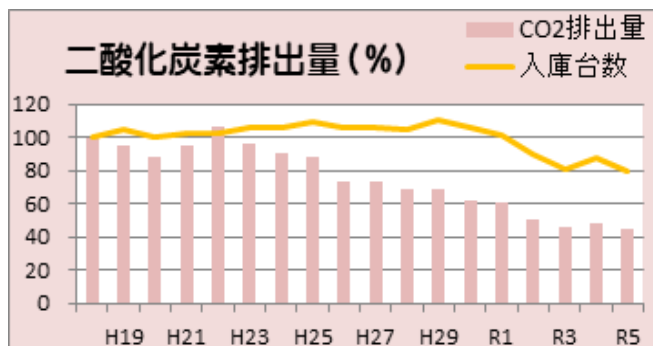


【平成29年(2017年)】…アメリカ映画『デイ・アフター・トゥモロー』を視聴。

地球温暖化により突然訪れた氷河期に混乱する人々を描いたSF映画。温暖化で南極大陸の棚氷が融け始め、それを見た気象学者が温暖化によって極地などの氷が融解し海流の急変が発生。将来的に氷河期を引き起こす可能性があると考える。…温暖化は怖い！

6. 20年間の環境経営状況

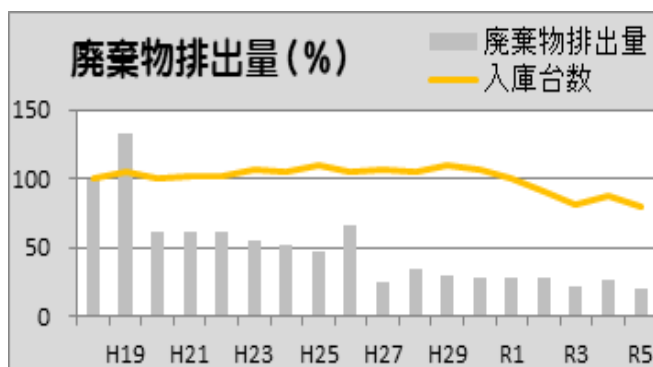
エコアクション21の認証登録をした平成18年度の数値を100とし今年度までの状況です。①～⑤は環境活動として二酸化炭素排出量(電気は令和2年1月中国電力排出係数0.462kg-CO₂/kWh使用)・廃棄物排出量、水使用量を折れ線グラフの総入庫台数。事業活動のエコ整備台数を総入庫台数と、リサイクル部品売上进行を総部品売上と、⑥⑦は経営活動として、総入庫台数、車検・点検台数を棒グラフで、毎年5月1日の人口を折れ線グラフで比較しています。また、化学物質は、スプレー缶等に微量含まれていますが、適正な管理使用をしています。



① 二酸化炭素排出量

■=CO₂排出量 & ■=入庫

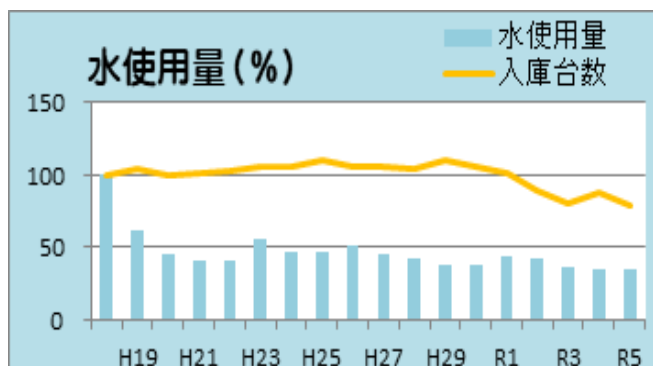
H18年度入庫一台のCO₂排出量は24kgでしたが、R5年度には13kgになり44%削減しました。H30年に照明をLEDに、令和6年に太陽光発電と蓄電池を稼働しました。



② 廃棄物排出量

■=廃棄物排出量 & ■=入庫台数

H20年から産廃(廃油・廃バッテリー等)を販売。H27年度からお客様の廃タイヤは購入先で引き取り、その廃タイヤは排出量に含めていません。産廃全ては汚泥です。



③ 水使用量

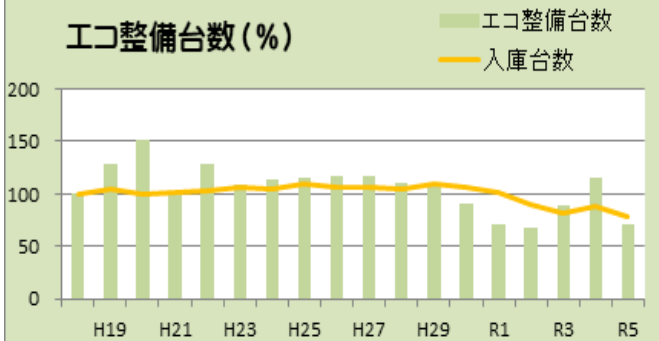
■=水使用量 & ■=入庫台数

約80%が洗車使用で、H19年度に洗車方法を改め、H23年度に井戸を掘り地下水利用を始めました。大型車の入庫が減少したこともありH18より64%減少しています。

【平成30年(2018年)】・・・京都東寺「砂原秀編長者」を訪ねる。

新見が東寺領荘園だったのが切っ掛けで30年前にお目にかかった。それ以来、毎年新見来られていたが体調不良とのことで夫婦でお訪ねする。大変喜ばれ書道九段の腕前で書かれた「徳川家康人生訓」をいただき、お客様待合室に掲げた。翌年ご逝去・・・合掌。

エコ整備台数 (%)

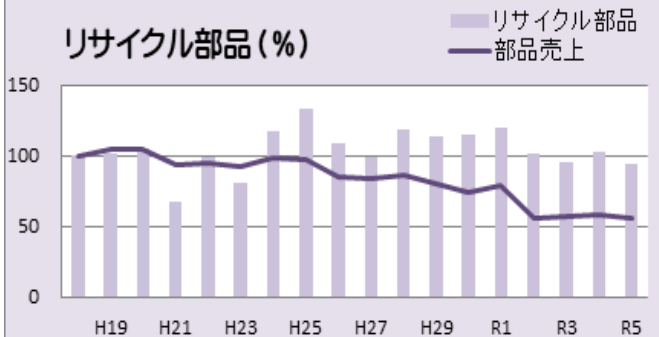


④ エコ整備台数

■=エコ整備台数 & ●=在庫台数

H16年度に燃費向上として導入したのですが、低燃費車が増加し減少しています。以前よりタイヤに窒素ガス充填されていたお客様のリピーターのみになりました。

リサイクル部品 (%)

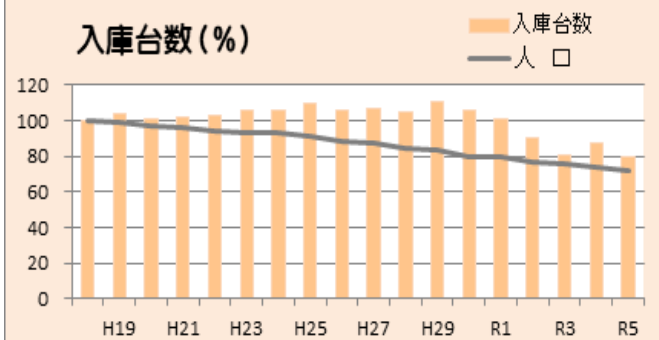


⑤ リサイクル部品売上

■=リサイクル部品売上 & ●=部品売上

電装品の性能が良くなり故障が減り一年保証を付けたリビルト電装品や、事故が減ったことでバンパーやドア・ドアミラーなどの中古部品の売上も減少しています。

在庫台数 (%)

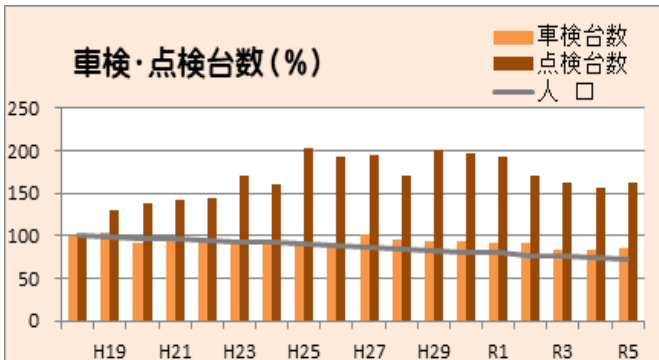


⑥ 在庫台数

■=在庫台数 & ●=新見市人口

新見市の人口は2045年には半減し、高齢化率も50%を超える予想が出ています。それに伴い車両台数の減少が続くと営業努力と工費値上げの検討が必要です。

車検・点検台数 (%)



⑦ 車検・点検台数

■=車検・●=点検 & ●=新見市人口

一般整備が減少しています。車検や点検で売上を上げることを検討します。OBD点検・車検が義務づけられたので、解りやすく説明することで在庫促進をします。

【平成31年(2019年)】・・・「ワンストップサービス」導入

100年に一度の大変革期といわれる時代に差し掛かった自動車業界は目まぐるしいスピードで変化している。その変化は整備業界にも否応のない変革を促し、その経営環境の変化に対応していかなければならない。その第一歩が「ワンストップサービス」の導入だ。

7. 今年度の取組と5ヶ年環境経営目標

【1】2023年度のキーワード（令和5年5月1日～令和6年4月30日）

昨年度は、世界的な物価の高騰と記録的な円安に揺れた1年でした。また「新型コロナウイルス感染症」は、ウイルスの変異、生活様式の変化などで感染拡大は新たな段階を迎えました。しかし、行動制限の緩和などにより社会活動は少しずつ落ち着きを取り戻しつつあるようですが、コロナ禍で変わった生活様式がコロナ禍以前の状態に戻ることはないだろうと考えます。

業界のマーケットを考えるうえで自動車販売の動向も無関係ではありません。長引くコロナ禍の影響で部品流通が途絶えるなど、自動車の生産現場は大きな混乱に見舞われました。新車販売の減少は整備のストックマーケットに影響を与えることから、将来的な需要減になる可能性をはらんでいます。

一方、昨年度は国内の自動車販売で「EVシフト」が鮮明になる年になりました。新型車が4車種発売されるなど、EVシフトは国内市場にも波及してきました。今年度は業界にとってどのような年度になるのでしょうか？

重要なキーワードは2つあります。

ひとつは1月よりスタートした車検証の電子化対応です。3年前にOSS申請を行いますでに定着しています。電子車検証の処理が出来る「記録等事務委託制度」の認定も受けました。更新した電子車検証は、変更点やステッカーの貼る位置などを説明する必要があります。また重要なリコール情報も知ることができるため、お客様への告知は不可欠といえます。

そして、この10月から「OBD検査」の試験運用が始まります。車載式故障診断装置(OBD)を活用した自動車検査、詳細はまだ明らかではありませんがOBD検査が来年10月1日にスタートします。今年度は、来る車検の大改革に向けた準備期間として重要な年度になるはずです。業界は大きな曲がり角を迎えています。

真剣な思いに満ちた行動は、必ずお客様の心を捉えます。お客様情報を把握し誠意を持って熱心に取り組んでいる人は、色々工夫し効果的な方法を考えて下さい。そういう日々の仕事の態度が、やがては大きな差となって現れます。

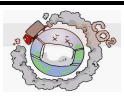
今期一年間、お客様への「感謝！」の気持ちを忘れず、一つのチームとして頑張っていきましょう。

[2] 5ヶ年環境経営目標（令和2年度～令和6年度）

「ICカード車検証」への対応、「特定整備認証」への移行、「OBD点検・車検」、「自動運転システム」への対応など、自動車整備業界を取り巻く環境変化について行けない同業者もいずれ出てきます。

これをチャンスと捉え「OBD検査用法定スキャンツール」や「ICカード車検証対応のリーダライタ」、ヘッドライト検査方法の変更に伴う「ライトテスター」等を揃え、今後の事業活動を先取りした取組で同業他社との差別化を図り、お客様にわかりやすく説明することで、信頼され愛される企業をめざして令和1年度を基準に下記5ヶ年環境経営目標を策定しました。

	新見市	年度	基準年	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		人口	28,522	27,991	27,371	27,068	26,453	25,775

項 目 / 年 度		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	二酸化炭素排出量 (kg)	40,804	40,396	39,988	39,580	39,172	38,764
	令和1年度基準 (%)	100%	99%	98%	97%	96%	95%
	廃棄物排出量 (t)	2.89	2.86	2.83	2.80	2.77	2.75
	令和1年度基準 (%)	100%	99%	98%	97%	96%	95%
	水使用量 (m ³)	494	489	484	479	474	469
	令和1年度基準 (%)	100%	99%	98%	97%	96%	95%
	工口整備 (台)	30	30	30	30	30	30
	令和1年度基準 (%)	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	リサイクル部品使用 (万円)	312	315	318	321	324	328
	令和1年度基準 (%)	100%	101%	102%	103%	104%	105%
	入庫台数 (台)	2,853	2,882	2,910	2,939	2,967	2,996
	令和1年度基準 (%)	100%	101%	102%	103%	104%	105%
	車検台数 (台)	469	474	478	483	488	492
	令和1年度基準 (%)	100%	101%	102%	103%	104%	105%
	点検台数 (台)	245	247	250	252	255	257
	令和1年度基準 (%)	100%	101%	102%	103%	104%	105%

この目標は、年度ごとに前年度の結果と事業を取り巻く環境の変化を的確に捉え、毎年、別途「チャレンジ目標」を策定し達成状況を確認しています。

[令和1年(2019年)]・・・「第14回全国交流研修大会くらしき」和仁達也氏の講演

和仁達也著『世界一受けたいお金の授業』で経済やお金の仕組みを学んだ。「全国大会くらしき」の講師が和仁達也先生と聞き事務局へお願いし参加。内容はまさに思い描いていたもので、本だけでは読み取れなかったことも面白いぐらい頭に入ってきた。良かった。

[3] 環境経営委員会の方針

環境経営委員長：山崎篤史(代表取締役社長)



2015年以降、競争激化で4年連続事業場数が減少しています。高齢化の進行で、総人口の減少および65歳以上の人口割合の増加が進み経営難に陥った自動車整備工場の淘汰は今後も続くと考えられます。「自動車整備技術の高度化への対応」「自動車整備要員の確保・育成」が重要課題になります。

工場部門責任者：小林 晃



自動車整備士資格の変更という点において、一昨年から大きな改革の年になっています。クルマの電動化や自動運転レベルの向上などにより、自動車整備の高度化に対応する自動車整備士の育成と確保が求められています。自動車整備士資格は新たな枠組みに改正されます。新制度は2027年1月1日に施行され新たな整備士資格の抜本的改正により人材不足や待遇改善の機運が高まることを確認しながらレバレーのアップをします。

事務部門責任者：石井康視



自動車整備のマーケットと販売の動向は無関係ではなく、2020年に販売台数が500万台を割り込んで以来、年々販売台数は減少を続けており深刻な状況です。また、新車販売の減少は整備のストックマーケットに影響を与えることから、将来的な需要減になる可能性をはらんでいます。顧客の要望や懸念点に配慮した説明や確認、今後のメンテナンスや次回の入庫までを踏まえたアドバイスを強化し、顧客との信頼関係の構築、及び顧客満足向上を図っていきます。

アドバイザー：山崎保彦(取締役会長)



人に一番必要なのは「素直さ」です。常に謙虚で素直でなければ成長しません。人は、思い、行動することで、習慣が変わります。思いは、具体的な行動を繰り返すことで、初めて習慣になります。私の強い人は周囲が見えなくなります。この業界に長くいて気づいたことは、素直に即実行、行動に移すこと、そして、日々の仕事に感謝の心を忘れずにいることです。

[令和1年(2019年)]・・・新見市共催「NHKみんなの体操」を誘致5年目

2015年。かんぼ生命岡山県理事をしている関係で市長より「みんなの体操」を誘致できないかとの相談があり5年間の約束だったが、無理をお願いし10年続けることに。「ラジオ体操」は、心と体の健康に役立つさまざまな効果がある。これも、社会貢献の一つかな？

8. 今年度の実績と考察

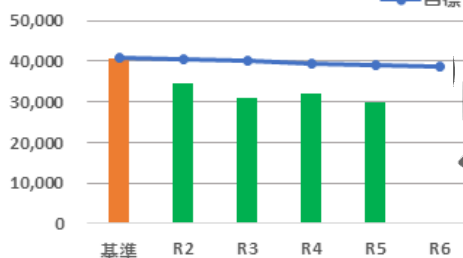
[1] 今年度の実績

各グラフの — 折線が26ページ[1]5ヶ年環境経営目標で、■ の縦棒が基準年度、■ の縦棒が達成年度、■ の縦棒が未達成年度です。

(1) 環境活動の取組 ■ 目標 ■ 達成 ■ 未達成

環境負荷項目 / 年 度	基準年	令和 5 年度目標	令和 5 年度実績
 二酸化炭素排出量 (kg/年) 令和1年度基準/達成率(%)	40,804 100%	39,172 kg 令和1年度より4%削減	29,868 kg (達成率 131 %)
 廃棄物排出量 (t/年) 令和1年度基準/達成率(%)	2.89 100%	2.77 t 令和1年度より4%削減	2.68 t (達成率 103 %)
 水 使 用 量 (m3/年) 令和1年度基準/達成率(%)	494 100%	474 m³ 令和1年度より4%削減	387 m³ (達成率 122 %)
 エコ整備台数 (台数) 令和1年度基準/達成率(%)	30台 100%	30 台 令和1年度と同台数	32 台 (達成率 107 %)
 自動車リサイクル部品売上 (万円) 令和1年度基準/達成率(%)	312万円 100%	324 万円 令和1年度より4%増収	243 万円 (達成率 75 %)

二酸化炭素排出量(kg)



二酸化炭素排出量

太陽光発電と蓄電池を1月より稼働。1～4月は発電より消費が多いのですが、5月の発電は一日平均約31KWhで、消費が約28KWh、蓄電が6KWhでした。

廃棄物排出量(t)

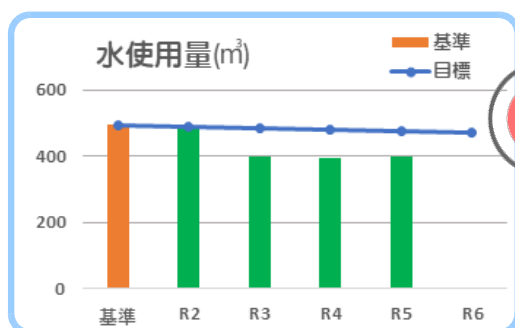


廃棄物排出量

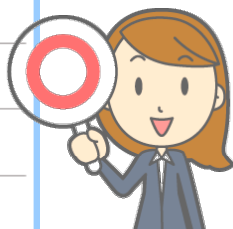
大型トラック等の入庫減で洗車での汚泥が年々減ってきています。また、部品の梱包も簡易化され、ボール箱や新聞紙はまとめて回収してもらっています。

【令和2年(2020年)】・・・「コロナ禍」の影響

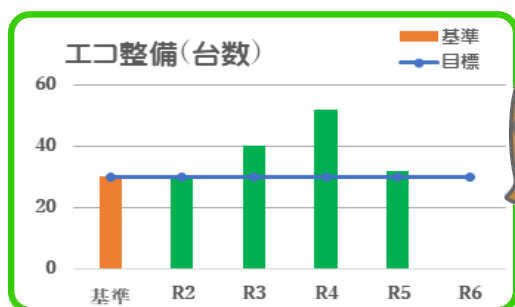
新型コロナウイルスによる影響は、イベント自粛、不要不急の外出を控える等の要請が営業活動の縮小(商談・面談機会の減少)をせざるを得なくなった。補助金で「車内抗菌フレッシュAg+」を売り出したもの、はたして在庫台数の減少はいつまで続くのだろうか？



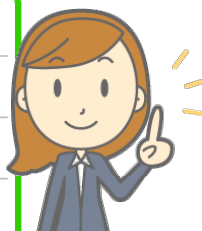
水 使 用 量



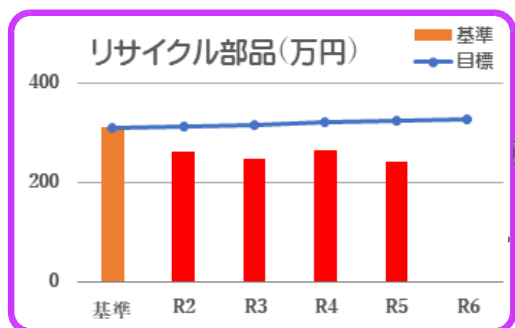
人口減少と高齢化で保有台数が年々減少した結果、入庫台数が減ったことで達成できましたが、今後もお客様が満足いただけるよう無料洗車は続けます。



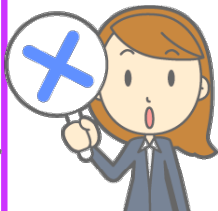
エ コ 整 備



冬タイヤに窒素ガス充填をすることで、空気が抜けることが抑制でき雪道でのグリップ力が良くなります。冬タイヤも降雪が減り販売本数が減っています。



リ サ イ ク ル 部 品



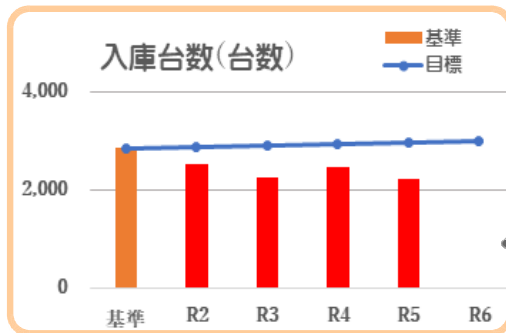
お客様へ、「新品」か「リユース(中古品)」か「リビルト(再生品)」か、それぞれのメリット・デメリットを説明し、お客様と相談し提案しています。

(2) 経済活動の取組 【目標・達成・未達成】

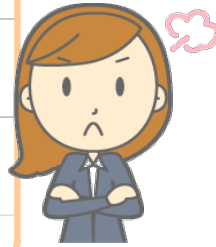
環境負荷項目 / 年 度		基準年	令和 5 年度目標	令和 5 年度実績
	入 庫 台 数 (台)	2,853	2,967 台	2,227 台
	令和1年度基準/達成率(%)	100%	令和1年度より4%増加	(達成率) 75 %
	車 検 台 数 (台)	469	488台	436 台
	令和1年度基準/達成率(%)	100%	令和1年度より4%増加	(達成率) 89 %
	点 検 台 数 (台)	245	255 台	205 台
	令和1年度基準/達成率(%)	100%	令和1年度より4%増加	(達成率) 80 %

【令和3年(2021年)】事業継続力強化計画の申請

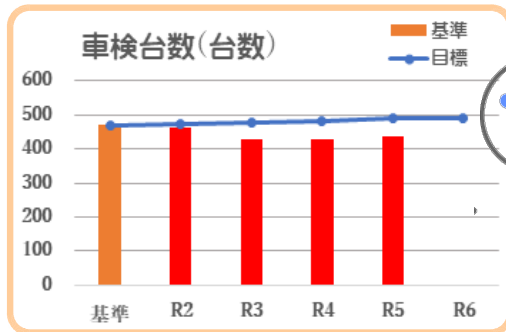
簡単にいえば緊急時に会社を守るための取組。自然災害等の緊急事態が発生した際、自社の社員や設備などを災害等から守り、事業を継続するための取組を整理したもの。その取組を計画にまとめ、国(経済産業大臣)に申請することで認定を受けることができた。



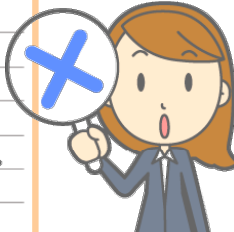
入庫台数



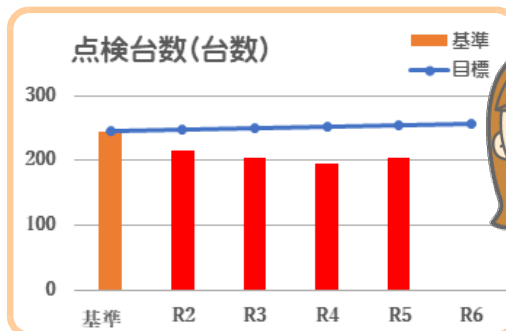
人口減少と高齢化でクルマの移動が減ると共に性能が向上し整備車両の減少が続いています。乗り方に合わせた予防整備の提案をしていますが未達成でした。



車検台数



管理車両が減ってきています。お客様とのコミュニケーションをもっと密にし、信頼関係を構築することで、新規のお客様をご紹介いただけるようにします。



点検台数



車の法定点検は義務化されていますが、個人の車の点検義務に対する意識が薄い。「OBD点検」が義務づけられましたので、お勧めしていますが未達成でした。

(3) 地域社会との共創

①地域社会との共創

- ・新見第一中学校より中学生職場体験生 (2名) を受入ました。
- ・地域を巻き込んだ、BCP(地震・風水害・感染症)を検討中です。

②クルマの環境と安全安心向上

- ・分解整備に自動運行装置が入り「特定整備事業所」が認定されました。
- ・検査証のIT化による「特定記録事務代行者」が認定されました。

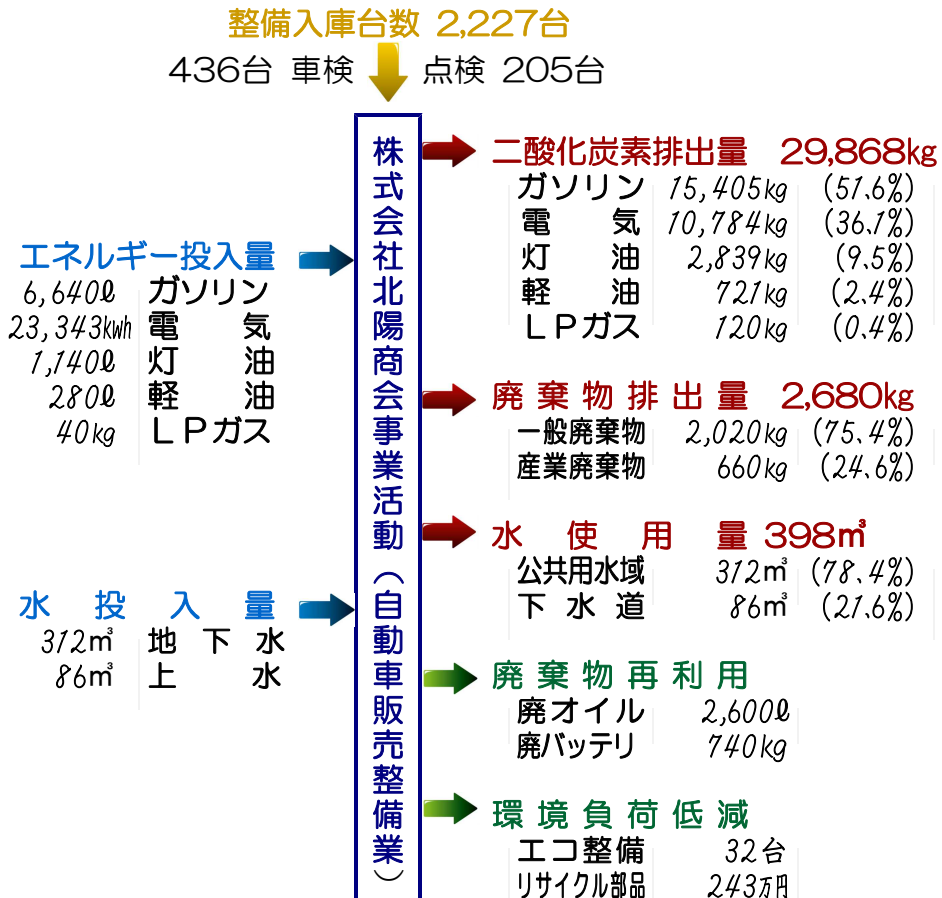
③健康保持で豊かなカーライフ

- ・新見市と共催し「NHKラジオ体操講習会(大佐町)」を開催。
- ・企業全体で健康づくりに取り組む「健康企業宣言」をしました。

【令和3年(2021年)】・・・新見で豪雨災害

新見市で1時間に120ミリ超の雨が降ったとして「記録的短時間大雨情報」が出た。土砂崩れで民家が何棟か全壊。住宅で床上、床下の浸水被害多数。弊社も工場のピットに浸水、水中ポンプで排水したが間に合わない。CO₂が気候変動を起こしてるのか、大変だ。

(4) 環境負荷の全体像



[2] 環境コミュニケーションの実施

(1) ウェブ・コミュニケーションの充実

ホームページで「環境経営レポート」の公表と情報提供など

(2) 地域コミュニケーションの支援

「環境経営レポート配付」「こども110番のクルマ屋さん」「災害時支援協力事業場」「中学生職場体験生受入」「NHKみんな体操講習会」新見市と共催など

(3) 内部コミュニケーションの実施

四半期毎「環境経営活動報告会（進捗状況を全社員で共有）」の開催・社員からの意見や提案を募集・環境経営方針等の社内掲示・毎月初日社長訓示・毎朝朝礼・環境活動への取組評価と社員表彰・「環境経営レポート」を全社員で校正など

[令和4年(2022年)]・・・「岡山県BCP認定制度」三ツ星事業者に認定

昨年、二ツ星(地震・風水害)事業者の認定。「感染症」が認定されなかった。悔しくて再挑戦。岡山県BCP認定制度は、何かあった時にすぐに行動を起こせる実効性に重きが置かれているのが特徴。平時に対策を練っておき、緊急時の初動対応を明確化して三ツ星認定。

9. 環境関連法規の違反、訴訟等の有無

[1] 適用となる主な環境関連法規

適用となる主な規制法令と該当する活動

規 制 法 令	法令の要求事項	規制対象設備&項目
環 境 基 本 法	環境への負荷の低減	事業活動全般
廃 棄 物 処 理 法	産業廃棄物処理委託 マニフェストの保管 保管場所	産業廃棄物処理委託契約書 5年間保管 掲示板(60cm×60cm)表示事項
循環型社会形成推進基本法	廃棄物排出抑制	廃棄物排出抑制の処置
資 源 有 効 利 用 促 進 法	資源有効利用	リサイクル部品の使用推進
自 動 車 リ サ イ ク ル 法	引取業者登録	5年毎の更新
家 電 リ サ イ ク ル 法	家電製品適正引渡し	指定引取り所への引き渡し
フ ロ ン 排 出 抑 制 法	設置&使用環境の管理	簡易点検の実施
グ リ ー ン 購 入 法	環境配慮商品の購入	環境配慮商品(法適用外)
水 質 汚 濁 防 止 法	貯油施設	油水分離槽定期的点検清掃
騒 音 規 制 法	特定施設設置届出	空気圧縮機届出
振 動 規 制 法	特定施設設置届出	空気圧縮機届出
P R T R 法	化学物質使用取扱管理	自主規制(法適用外)
消 防 法	消防計画等の規定	少量危険物貯蔵届出他

※環境関連法規等の改正情報は、(一財)環境イノベーション情報機構(EIC)に登録し、法的要求事項等の確認及び見直しをしています。



[2] 遵守状況評価結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 遵守状況評価結果について

環境関連法規制等の取りまとめ表及び、遵守状況チェック表で問題の無いことを確認しました。

(2) 違反、訴訟等について

関係機関等からの指摘、地域住民からの苦情も訴訟等も無く、関係当局よりの違反等の指摘もエコアクション21認証登録以来ありません。

【令和5年(2023年)】・・・「テコ活」よりは「エコアクション21」では！

「テコ活」は、CO2削減・脱炭素とエコ活動と生活を組合わせた言葉。部門別の削減目標は、産業38%や運輸45%、家庭66%。中小企業が「エコアクション21」に取り組むと、社員意識がエコノミーに変わり会社で削減するようになり、家庭でも実践するようになる。

10. 代表者による全体評価と見直し結果

《□=達成・□=未達成・□=前年並み》

CO₂排出量

認証登録時の排出量と比較すると55%削減できています。全社員が常に削減することを忘れずに行動しています。



廃棄物排出量

廃棄物管理分別は当たり前になり、産業廃棄物も必要なものと不必要な物を整理することで商品になると理解しています。



水使用量

洗車してキレイな愛車をご納車することは、お客様が大変喜んで下さいます。どんなクルマも洗車してご納車しましょう。



化学物質使用量

水性塗料に変えたので使用していませんが、スプレー缶に微量に含まれていますので管理と安全使用を心がけましょう。



エ コ 整 備

エンジン洗浄とオイル潤滑系統洗浄は本年度でやめます。窒素ガス充填は伸びていますので夏タイヤにも勧めましょう。



リサイクル部品

車の性能が良くなり電装品故障や事故が減ってます。リユースやリビルト部品だと安く修理できる事を説明しましょう。



入庫台数

管理台数が減っていますが、使用状況を把握し、お客様にあった提案をして私たちにできることを実践していきましょう。



車 検 台 数

訪問や電話連絡の際に「OBD車検」が始まったことを分かりやすくお伝えし、入庫日を決めてもらうことが大切です。



点 検 台 数

年に一度の「OBD点検」が義務化されました。お客様に法定点検と合わせてご説明し予防整備をお勧めしましょう。



緊急事態訓練

緊急事態訓練も、岡山県BCP制度認定を受けましたので、BCP訓練の時間が増えてますが本気で取り組みましょう。



SDGsの活動

EA21の目標やBCPへの取組は、全てSDGsの17の目標につながっています。家庭においても実践していきましょう。



環境コミュニケーション

レポートを活用しステークホルダーとの相互理解を深め、いただいたご意見をさらなる改善につなげましょう。

【令和5年(2023年)】・・・「リース契約」で太陽光発電・蓄電池を設置

リース業者から太陽光発電設備と蓄電池を20年間借りる。設置もメンテナンスも0円、自家消費で電気代節約、余った電力は売る、リース料金は経費計上、毎月支払うリース料金は固定、契約終了後は設備をそのまま無料で譲り受ける。CO₂ゼロで脱炭素に効果的。

11. 次年度の取組と環境経営目標

〔1〕コロナも「5類感染症」に移行し社会活動は回復期に。

コロナ禍における自動車販売は前年割れを繰り返し、低水準に喘いできました。新車の長納期化により、代替え時期が後ろ倒しになるケース、中古車価格の高騰に加え、代替え出来ないユーザーが継続検査を選択してクルマを乗り継ぐ事例が相次ぐなど、自動車アフターマーケットにも余波を与えました。しかし、2023年5月に「5類感染症」に移行し低迷が続いてきた自動車販売はプラス基調に転じ、整備需要も回復傾向を示すなど、明るい兆しが見えてきました。



①『今まで以上のユーザーニーズへの対応』

純真な気持ちでお客様がお困りのことを解決しお役に立つ。

②『整備技術の高度化への対応』

車の技術革新は進化しそれに伴う最新技術の強化を図る。

③『入庫・販売台数を増やすための工夫』

弊社の社会的有用性を運用し情報発信の強化を図る。

〔2〕次年度の「チャレンジ目標」

青数字が今年度の実績で、緑数字が次年度四半期毎の「チャレンジ目標」です。

項 目	四半期毎の「チャレンジ目標」			
昨年度 二酸化炭素排出量実績	6,038kg	13,060kg	22,068kg	29,868kg
チャレンジ目標 (基準より、64%)	6,000kg	13,000kg	19,500kg	26,000kg
昨年度 廃棄物排出量実績	2.04 t	1.69 t	2.27 t	2.68 t
チャレンジ目標 (基準より、83%)	0.60 t	1.20 t	1.80 t	2.40 t
昨年度 水 使 用 量 実 績	94㎡	195㎡	294㎡	398㎡
チャレンジ目標 (基準より、73%)	90㎡	180㎡	270㎡	360㎡
昨年度 エコ整備台数実績	0台	2台	18台	32台
チャレンジ目標 (基準より、100%)	7台	15台	22台	30台
昨年度 リサイクル部品売上実績	38冊	111冊	172冊	243冊
チャレンジ目標 (基準より、80%)	50冊	150冊	200冊	250冊
昨年度 入 庫 台 数 実 績	448台	1,021台	1,648台	2,227台
チャレンジ目標 (基準より、88%)	600台	1,200台	1,800台	2,400台
昨年度 車 検 台 数 実 績	110台	217台	322台	436台
チャレンジ目標 (基準より、98%)	115台	230台	345台	460台
昨年度 点 検 台 数 実 績	41台	92台	135台	205台
チャレンジ目標 (基準より、90%)	55台	110台	165台	220台

本年度の実績を基に次年度は上記「チャレンジ目標」に挑戦します。

〔令和6年(2024年)〕・・・「新見市の里山資本とまちづくり」藻谷浩介氏の講演

『エネルギー革命は山里から始まる』で始まった。総面積の約86%を森林が占める新見市は、林業生産活動の活性化と森林の持つ多面的機能が発揮されるよう、継続的な森林整備を行い、将来を見据えた森林づくりを進める。林業は「持続可能な豊かさ」を守る術。

[3] 次年度の目標達成に向けて

(1) 自動車人口の減少にともなう売上の減少への対応

自動車整備業界は社会や技術、経済の変化などにともない、自動車保有台数減少が続いています。県庁所在地や大都市に人口が集中し郊外は人口が減少しています。また、ガソリン高騰による経済面の変化や、EV、自動運転、運転支援システムなどの技術の進歩により、さまざまな要因が売上に影響を与えます。業界の変化をいち早く察知し、柔軟な経営戦略を図ります。



(2) ASV（先進安全自動車）にともなう整備の売上減少の抑制

最近では、ASVが普及しています。ASVの普及による事故整備の減少、しかも、2021年10月以降の新車は自動ブレーキ機能の搭載が義務付けられ、今後、よりいっそうのASV普及が見込まれるため、事故の減少など整備工場を取り巻く環境は大きく変化していきます。新規お客様の獲得などマーケティングに力を入れ、整備売上向上につながる対策を図ります。

(3) 自動車整備工場の人手不足への対応

整備工場の課題に「整備士不足」があります。少子高齢化や若者の車離れなどの要因により、車に興味を持つ人が減ったことで整備士が確保しづらくなっています。優秀な整備士を確保したいと考えています。売上向上により経営状況が改善されれば、割高な賃金を支払うことができ、技術力の高い人材を確保することにもつながります。

(4) DXやIT技術の導入

最近では、DXやITの向上により自動車整備業務が高度化しています。2023年1月からは車検証のICカード化で車検手続きで検査証やステッカーも打ち出せるようになります。それに対応したシステム変更を実施しました。2024年からは、OBD車検が実施されそれに対応したスキャンツールなどの設備の導入も必要です。



(5) その他

前期より代表取締役が変わりましたが、「環境経営目標」及び「環境経営方針」・「環境経営計画」・「環境経営マニュアル」は変更しません。また、代表者が環境管理委員長を兼務しますので昨年度より「環境経営実施体制と主な役務」が多少変更されてますので再確認して下さい。

[令和6年(2024年)]・・・気候変動、ゴルフボール大のヒョウ被害

4月16日午後新見市内で、ゴルフボール大の氷の塊が地面を叩きつけた。工場の屋根にいくつか穴が空き、クルマの天井に凹みができた。現代世代が大量のCO₂を出し気候危機を引き起こした？人の活動が海洋や陸域を温暖化させてきた。『疑いの余地はなし！』

12. 「環境関連表彰」及び「事例発表」の記録

[1] 環境関連受賞の記録

- 2008年 環境保全対策優良事業所表彰【主催：国土交通省岡山運輸支局長】
- 2009年 環境保全対策優良事業所表彰【主催：国土交通省岡山運輸支局長】
- 2010年 環境コミュニケーション大賞（優秀賞）【主催：環境省・地球人間環境フォーラム】
- 〃 岡山県地球温暖化活動表彰【主催：岡山県】
- 〃 環境保全対策優良事業所表彰【主催：国土交通省 岡山運輸支局長】
- 2011年 環境保全対策優良事業所表彰【主催：国土交通省 中国運輸局長】
- 2012年 グリーンショップ大賞（大賞）【AIRジャパン】
- 2013年 経営者環境力大賞【NPO法人環境文明21・日刊工業新聞社】
- 2014年 環境コミュニケーション大賞（大賞）【主催：環境省・地球人間環境フォーラム】
- 2015年 環境コミュニケーション大賞（優良賞）【主催：環境省・地球人間環境フォーラム】
- 2016年 環境コミュニケーション大賞（優良賞）【主催：環境省・地球人間環境フォーラム】
- 2017年 環境コミュニケーション大賞（優良賞）【主催：環境省・地球人間環境フォーラム】
- 2019年 環境コミュニケーション大賞（優良賞）【主催：環境省・地球人間環境フォーラム】
- 2020年 環境コミュニケーション大賞（優良賞）【主催：環境省・地球人間環境フォーラム】
- 2021年 環境コミュニケーション大賞（優良賞）【主催：環境省・地球人間環境フォーラム】
- 2022年 EA21オブザイヤー・レポート部門（銅賞）【主催：持続性推進機構】
- 2023年 EA21オブザイヤー・レポート部門（優良賞）【主催：持続性推進機構】
- 〃 EA21オブザイヤー・ソーシャル部門（優良賞）【主催：持続性推進機構】

[2] 事例発表の記録

- 2011年 環境保全対策優良事業所代表【主催：国土交通省中国運輸局長】
- 2013年 経営者環境力大賞【主催：NPO法人環境文明21・日刊工業新聞社】
- 〃 岡山エコ事業所（ゼロエミッション認定）代表【主催：岡山県】
- 2014年 中小企業が生き残る環境経営【主催：岡山県環境保全事業団】
- 〃 審査人力量向上研修会【主催：EA21中国ブロック地域事務局】
- 2015年 Eco CRIPセミナー【主催：EA21中央事務局】
- 〃 環境情報開示のすすめ【主催：鳥取環境大学中尾ゼミ】
- 〃 環境経営への取組【主催：神戸CSR研究会】
- 〃 第10回EA21全国交流研修大会【主催：持続性推進機構】
- 〃 環境経営フォーラム【主催：高知県地球温暖化防止県民会議】
- 2018年 これから始める環境コミュニケーション【主催：岡山県】
- 2021年 岡山県省エネWEBセミナー【主催：岡山県】

〔令和6年（2024年）〕・・・「エコアクション21」の認証登録が減少？

年間の新規事業者数はピーク時の1/2以下になり新規事業者の40%が返上。エコアクション21の価値は「環境省の環境政策に役に立ち、事業者にも役に立つ」こと。環境省が事務局に任せず、国会や地方議員、自治体、そして事業者に働きかけたらどうか？

13. おわりに

地球温暖化による「気候変動」

環境経営委員会

新見では過去大きな自然災害は無かった。2018年局地的に猛烈な雨が降り、護岸は崩壊し川が氾濫、浸水被害や土砂崩れ、土石流で民家が全壊。2024年にはゴルフボール大のヒョウが降り工場の屋根が穴だらけ、クルマはボコボコ。全国各地で発生している温暖化による「気候変動」は深刻さを増している。

温暖化は人類が排出する「CO₂の影響」で起きていることはほぼ間違いなさそうだ。問題はそのままCO₂の排出が続いた場合、地球はどうなってしまうのか？「海面上昇や沿岸での高潮被害」「大都市部への洪水での被害」「熱波による死亡や疾病」「干ばつで食糧不足」「局地的豪雨(100mmの豪雨は3倍に増加)」など、さまざまなリスクが生じると予測されている。

2030年までにCO₂排出量を、2013年比で46%削減しなければならない。2030年といえは6年後。6年で日本が出すCO₂排出量を半減させることは可能なのか？温暖化が止められなかったら、今まで以上に大規模な災害が発生し、最悪、地球規模の大飢饉が起きるかもしれない。もしかすると、人類は地球温暖化という「パンドラの箱」を開けてしまったのか？

1992年の地球サミットで、12歳の少女セヴァン＝スズキのスピーチを思い出す、『大人みなさん、どうやって直すのかわからないものを、壊し続けるのはもうやめてください。』

令和5年度版

～環境経営レポート～

地球と仲良し -Vol.20-

発行日 令和 6 年 7 月23日

編集者 環境経営委員会

発行者 株式会社北陽商会

住 所 〒718-0011

岡山県新見市新見327-1

連絡先 TEL : (0867) 72-2173

FAX : (0867) 72-2270

E-mail : hokuyo@mx3.tiki.ne.jp

地球環境を守ろう!!



『地球』と『人』と『車』に優しい
“エコカー”をお勧めしています。



チョイス！エコカー